

私は今、大阪市住之江区にある粉浜学園に勤務し、年少クラス(3歳児)の担任をしています。

今年で勤続10年目になりますが、勤務してから2〜3年目は担任であることにプレッシャーを感じてしまい、日々の保育の中での活動一つ一つに緊張していました。うまく進められるだろうかという不安が大きく、余裕のない日々を過ごしていました。

しかし、大学の授業や実習で学んだと、先生方から教わったことを振り返り、徐々に日々の保育に取り入れていくことができるようになり、自信をもって保育に臨めるようになりました。「こういう言葉かけにすればもっとわかりやすく伝わったかな」「こんなふうな気づきを促したらスムーズな理解に繋がるんだな」など日々試行錯誤しながら保育を行っています。子どもたちが生き生きと活動する姿や、「今日の製作楽しかった」という声を耳にするとき、保育士になった楽しさを実感します。

活躍する卒業生たち

好きを仕事に活かして

発達栄養学科 2017年卒(8期生) 下川 明日実



私は現在、大阪市中央卸売市場本場にある「株式会社うおいち」という荷受会社の販促営業広報課で働いています。子どもの頃から海の生き物が好きで、魚に関わる仕事がしたいと思っていました。大学の産官学食育実践演習の授業で市場に来た時に興味を持ち、魚を栄養の観点から広めることが出来ればと思い、この会社に就職しました。現在は管理栄養士の資格を活かし、レシピを提案したり、食育もしています。それだけでなく、会社内外に発信する情報誌を書いたり、ホームページを管理したりと仕事は多岐にわたります。

レシピ提案では栄養だけでなく、作りやすさ、地域の食文化など様々なことを考えて作ります。特にメディアや量販店への提案は「手軽に作ることができて、美味しい」ということがポイントになるので考えるのに苦労します。初めはレシピを作るだけで精一杯でしたが、最近は色々考えながら作ることができるようになりました。また、上司や営業部の商談に同行し、レシピの提案をすることもあります。これからは営業部とのコミュニケーションを積極的にとり、魚や商品、流通の知識を身に付けて、量販店や飲食店での商品化を目指していきたいです。



大学での学びを日々の保育に

子ども発達学科 2010年3月卒(1期生) 奥野 文子

子どもとの関わりにおいて大切にしていることは、一人ひとりと丁寧に向き合うことです。そのような関わりを積み重ねていく中で、信頼関係が築けてくると実感できることが増え、とてもやりがいを感じます。子どもたちの屈託のない笑顔を目にする時は、この子たちの育ちに関わることに感謝する瞬間です。失敗や辛いときもありますが、この笑顔が保育士を続ける原動力になります。

関東支部

趣向を変えた演出で 交流を深める

関東支部では例年通り6月上旬、58回目の同窓会を開催いたしました。会場は庭園が素晴らしい

支部長 天貝 千代美

る広間でした。会食後のカフェタイムにはこれまでと趣向を変え、ジャズコンサートを企画し、ジャズ奏者をお迎えいたしました。同窓会会員のジャズバイオリン、幹事のバイオリン、ソプラノも参加演奏し、大いに盛り上がりました。楽しい演奏で皆様の会話も弾み、交流を深めていらっしゃる様子に相愛学園の縁が繋がって行く喜びを感じました。

東海支部

世代の垣根を越えて 広がる親睦の輪



今年度はマリオットにて総会を開催いたしました。名古屋駅前も随分と変わり、新しいビルがどんどん増えて地元に住んでいる私も迷ってしまいます。

今回は大阪と同じ日になり、少し人数が減りましたが、皆様お元気に参加されました。

支部長 星野 滋子

京都支部 令和元年を迎えての 総会と紅葉会



無く寂しい会でしたが、沢山の会員様のご出席で賑やかに会が始まりました。挨拶の後、会計報告と事業報告の後には、一番の楽しみのお料理です。

また、来年も良い場所を役員一同探して参りますので、奮ってご参加下さいますように、お願い申し上げます。

支部長 竹原 和

天皇陛下が平成から令和に御代替わりされた、記念すべき年は清々しい気持ちで春の総会を迎えました。場所は京都高瀬川の畔に佇む老舗の料理長が有名な村田吉宏さんのお店で念願叶い総会を開催することが出来ました。